

リバーウォッチングをやってみよう!!

みなさんは街中や山の中で川を見たときどう感じますか? 「わぁきれいーい」とか「水がにごっていて汚い」など、いろんなことを思うことでしょう。しかし、水のきれいさ(水質)というのは見た目だけで判断できるものではなく、通常は薬品を使った化学的な方法で調べられます。また、手軽な方法としては、水の中にすんでいる生きものによっても判断することができます。私たちは水生生物によって水質を調べることを、「水生生物調査」とか「リバーウォッチング」と呼んでいます。

生きものの中にはきれいな川にしかすめないものや、非常に汚い川に生息しているものなどがいます。水生生物調査ではこのような生物の

習性を利用し、川に生息している生物を調べることで水質を判定するのです。水質を調べるための生物を指標生物といいます。化学的な水質検査では”今”の川の状態しかわかりませんが、水生生物調査には生物が生きた1~2年の川の状態を推測することができるといった利点もあります。また、だれにでも調査でき、特別な道具を必要としないというのは大きな魅力です。

沖縄県では昭和60年から、地域住民や小・中学生の参加を得てリバーウォッチングを実施してきました。今回、よりよく水質を判断するために、指標生物を16種類から25種類に増やしました。ここでは25種類の指標生物(表)と、新たに増えた指標生物(図)を紹介します。

表. 沖縄の川の指標生物

きれいな水(水質階級Ⅰ)の指標生物	
1. ウズムシ類	6. ヘビトンボ類
2. ガガンボ類	7. マルヒラタドロムシ
3. ブユ類	8. ヒメドロムシ類
4. ナガレアブ	9. サワガニ類
5. カワゲラ類	10. ナガレトビケラ類
	11. 10,16以外のトビケラ類
少しきたない水(水質階級Ⅱ)の指標生物	
12. イシマキガイ	15. 20以外のヒラマキガイ類
13. カワニナ	16. コガタシマトビケラ
14. ヒメモノアラガイ	17. ヒメカゲロウ
きたない水(水質階級Ⅲ)の指標生物	
18. ミズムシ	19. ヒル類
	20. クルマヒラマキガイ
大変きたない水(水質階級Ⅳ)の指標生物	
21. ユスリカ類	23. サカマキガイ
22. チョウバエ類	24. タイワンモノアラガイ
	25. エラミミズ



図. 新たに加わった指標生物

沖縄県では6月~8月にリバーウォッチングを実施しています。ぜひ参加して、身近な川の水質を調べ、環境について考えてみてください。

【問い合わせ先】 沖縄県文化環境部 環境保全課 TEL: 098-866-2236
 沖縄県衛生環境研究所 衛生動物室 TEL: 098-945-0083